"ふるさとちば"のための政策推進を

こうじ まさかず 小路正和 県議会リポート

発　行／自由民主党千葉県議会議員会　〒260-0855 千葉県中央区市場町2番13号　電話043(227)7411

東京五輪契機に ご当地ナンバー導入を提案

外房地域活性化に効果あり

いすみ市選出の県会議員、小路正和（こうじ・まさかず）議員は9月28日、9月定例議会の一般質問に登壇し、東京オリンピックを契機とした地域振興策の一つとして外房地域に「ご当地ナンバー」の導入を提案しました。小路議員は、千葉県で行われるオリンピックのレガシーをソフト面で残すことが、今後の地域活性化にとって意義深いものと訴えました。また、外房地域に根ざした文化財や伝統文化を対象に、波をテーマとした日本遺産の申請を行うよう提案し、注目されました。9月議会では多項目の質問を行いましたので特集しました。

壇上から地域活性化を訴える小路県議

小路議員　東京オリンピックを契機に、「長生郡市・夷隅郡市サーフィン競技応援連絡協議会」が設立され、さまざまな活動を通じて地域振興を図っていこうとしています。その活動の一つとして、ご当地ナンバーの導入を目指そうとする動きがあります。ご当地ナンバーは、県内でもすでに導入している地域があり、最近では、昨年5月に国の募集があり、本年5月には新たに県内4地域について導入が決定されたと承知しております。

そこで伺います。東京オリンピックを契機とした新たなご当地ナンバーの導入について、県としても積極的に支援すべきと思うがどうか。

総務部長　ご当地ナンバーは、地域の知名度の向上を図り、地域振興や観光振興に資することを目的とする制度です。

新たな地域名表示は、国において平成16年度以降、これまでに3回募集しています。県内では、成田及び柏ナンバーがすでに導入済みで、本年5月に市川、船橋、松戸及び市原の各ナンバーの導入が決定され、平成32年度からの導入が予定されています。

県としては、国による新たな地域名表示の追加募集の際には、地域の各市町村の要望に応じて、表示名としての妥当性や地域における合意形成の状況などについて、導入基準に適合するものとなるよう、市町村への助言を行うなどの支援に努めてまいります。

要望　ご当地ナンバーは、九十九里、外房地域の活性化、オリンピック後のレガシーになっていくと思われるため、ぜひご支援をいただきたい。募集時期が分からないと思いますが、オリンピックということで特別に国交省に働きかけていただきたい。

外房日本遺産の申請

小路議員　日本遺産の申請について、市町村が主導して取り組むべきと考えますが、県教育委員会としてどのように考えているのか。

澤川教育長　日本遺産は「地域の歴史的魅力や特色を通じてわが国の文化・伝統を語る」ことを目的に、本県の「北総四都市江戸紀行」を含め、全国で67件が認定されています。文化庁では2020年までの今後2年間で、さらに30件程度を加えた合計100件を認定することとしています。

これまで県教育委員会に対し、いくつかの市町村から日本遺産に申請したい旨の相談があります。今後はこれらが認定されるよう、専門的な立場からの助言を行うなど、県教委として支援に努めてまいります。

要望　日本遺産の申請については、外房の独自性ある文化、伝統文化、祭り等々、いろいろあります。ぜひ「波の伊八」にスポットを当て、サーフィンと連携していただければと思います。

ちば文化遺産でも「上総十二社祭り」「大原はだか祭り」等々が選定されました。ぜひオリンピックを契機に、世界へこの外房、九十九里をPRする外房の波や祭りの文化をご支援いただきたい。

いすみ鉄道の活用

小路議員　いすみ鉄道を活用した観光振興について、県はどう取り組んでいるのか。

森田知事　いすみ鉄道は、沿線の自然豊かな里山や歴史薫る城下町などの地域資源に恵まれており、重要な観光資源になっていると認識しています。

そこで県では、平成28年度からいすみ鉄道も利用できる県内周遊フリー切符を企画・販売しており、その利用者へのアンケートでも半数を超える人が「いすみ鉄道に乗車した」と回答し、人気の高さが伺われます。

また、県は全国各地で観光商談会を実施しており、こうした場でもいすみ鉄道はさまざまな企画を提案するなど、積極的な活動に取り組んでいます。

要望　いすみ鉄道と小湊鉄道との直通運転には、房総横断鉄道として非常に魅力的でありますが、直通運転を実施するためには、さまざまな課題もあると認識しています。

今後、調査を実施してからその可能性を検討することになると思いますが、沿線の中でも養老渓谷は紅葉の季節などには多くの観光客が訪れ、チバニアンも近くにあり、県内有数の観光地でもあることから、全線直通は難しいかもしれませんが、いすみ鉄道が小湊鉄道の養老渓谷駅まで乗り入れすることで、お互いの相乗効果、利便性向上につながると考えていますので、調査結果を踏まえ、その実現に向けた検討を行うよう要望します。

観光についても、新しい社長に代わっても推進していただくようお願いします。

●いすみ市と県政に関するご意見をお寄せください

小路正和 県議事務所
〒298-0004
千葉県いすみ市大原8654
TEL・FAX 0470-62-5802

水産業ブランド化へ支援要請

地域の課題を取り上げ質問

9月県議会一般質問に登壇

再質問に立つ小路県議

「千葉ブランド水産物」

小路議員　水産業を取り巻く環境は、資源の減少、魚価の低迷、漁業就業者の減少など、厳しい状況にあります。このような中、生産者は所得向上に向けて、漁獲物の付加価値を向上させるなどブランド化に一生懸命取り組んでいます。そこで伺います。生産物のブランド化の取り組みに対して、県はどのように支援していくのか。

森田知事　本県に水揚げされる水産物の付加価値を高め、消費者にその魅力を広く知っていただくブランド化の取り組みは、生産者の所得向上を図るための有効な手段と考えています。

そこで県では、生産者が行う新たな技術により漁獲物を鮮度よく出荷する取り組みや、消費者に好まれるおいしい加工品の開発、ブランド化に向けたPR活動に対して支援することとしています。また、水産総合研究センターなどによる技術指導も行っているところです。

さらに、これらの取り組みなどにより魅力が高められた、優れている水産物については「千葉ブランド水産物」として認定し、積極的にPRすることとしています。今後も地元市町村等と連携しながら、生産者が行う県産水産物のブランド化の取り組みを支援してまいります。

要望　今後も意欲ある生産者のブランド化に向けた取り組みについて、積極的に支援いただくよう要望します。特に出荷やネット販売など工夫することにより、所得向上に繋がると思いますのでよろしくお願いします。

大原高校再編効果

小路議員　県立大原高校について、統合後3年が経過しましたが、大原高校の再編についてどう評価しているのか。

澤川教育長　県教育委員会では、再編実施から3年が経過した県立高校について、評価を実施しています。この中で大原高校については、8割以上の生徒が「学んでよかった」と回答しており、具体的には「カリキュラムが充実していて、学力を伸ばすことができた」、「生徒が増え、部活動がより活発に行われるようになった」など、高い評価を得ています。

また、地元の中学校や教育委員会からは、「進学だけでなく、地元産業を支える部門の学びなど多様なニーズに対応している」、「インターンシップやボランティア活動を通して地元との繋がりを深める取り組みを行っている」などの好意的な意見をいただいています。

要望　文部科学省が来年度実施を予定している地方創生拠点モデル校の指定を受けるよう働きかけていただきたい。

運動部活動の制限

小路議員　部活動が制限される中、地域スポーツとの連携について、県教育委員会としてはどのように考えているのか。

澤川教育長　本年3月にスポーツ庁が策定した運動部活動ガイドラインでは、少子化に伴う複数校での合同部活動の推進や、スポーツ団体との連携によるスポーツ環境の充実など、今後の運動部活動の方向性が示されました。

これを受け、県のガイドラインでは、学校や地域の実態に応じ、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブと連携を密にすることや、地域の外部人材を積極的に活用することなど、運動部活動と地域スポーツの協働・融合を進めることとしています。

要望　スポーツ少年団や少年柔道教室、町道場、総合スポーツクラブ、いろいろな団体がありあます。それらの団体とも連携していただき、部活動ガイドラインの意義は分かるが、競技力の向上もぜひ県としてバックアップしていただきたい。

農地中間管理機構

小路議員　農地中間管理機構関連農地整備事業の採択に向けての課題は何か。また、その課題解決にどのように取り組んでいくのか。

農林水産部長　本事業の採択要件は、地区内のすべての農地を農地中間管理機構に貸し付け、8割以上の農地を担い手に集積することや、収益性を20%以上向上させることなど、高い目標設定が必要になっています。

事業採択に向けては、農地所有者に農地中間管理制度の意義等について理解いただくことや、事業計画の作成に当たって、担い手の明確化や、収益性の高い作物の導入などについて、地域で合意形成を図ることが課題となっています。

このため県では、制度の理解促進をより一層図るため、今年度、機構の支部職員を増員したところです。また、地域の合意形成を図るため、高収益作物の導入に対する助言や技術的支援など、引き続き、市町村や土地改良区等と連携し、行っていくこととしています。

野生鳥獣対策

小路議員　野生鳥獣対策のために採用した任期付職員の現在の活動状況はどうか。

環境生活部長　県では本年4月1日に、イノシシ等野生鳥獣対策モデル事業に従事する任期付職員を採用し、現在、勉強会や被害状況の把握を行っているところです。今後、地域住民の皆様とともに効果的な防護柵の設置など、具体的な対策を実施してまいります。

また、キョンの捕獲方法の開発等を行うため、本年8月1日に任期付職員を採用し、現在、キョンの生態や生息状況の調査に向けて、市町村や関係機関等との調整を進めているところです。

県としては、任期付職員の知見を活用し、市町村や関係機関と協力しながら、有害鳥獣による被害防止対策を推進してまいります。

再犯防止

小路議員　県は、再犯防止推進計画の策定に向けた検討を行うとしているが、そのスケジュールはどうか。

健康福祉部長　県では、今年度、千葉県保護観察所や更生保護関係団体、学識経験者等を委員とする協議会を設置し、社会復帰を支援するためのモデル事業を実施し、再犯防止に関する課題や解決策を検証していくこととしています。

要望　再犯防止について、着々と進めていただきたい。関係団体、特に保護司会の皆さんがボランティアで大変頑張っており、その中でなかなか情報共有ができていないために再犯が防げないなど、ショッキングな出来事によく出くわすようです。ぜひ、保護司の皆さんと県と県警で連携を取って進めていただきたい。

小路県議の一般質問項目

1. オリンピック開催地ご当地ナンバーについて
2. 市町村主導型の日本遺産申請について
3. いすみ鉄道について
4. 水産物のブランド化について
5. 農地中間管理機構関連農地整備事業について
6. 野生鳥獣について
7. 再犯防止について
8. 南房総地域の水道事業の現状について
9. 地域スポーツの推進について
10. 県立大原高校について
11. その他